

編集後記

この三か月間を振り返ると、怒涛の活動ラッシュだったように感じます。6月までの自粛モードとは打って変わり、感染症対策に気をつけながら、現地での活動がスタートしました。厚真町と東川町での長期滞在プログラムを始め、たくさんの参加者が色々な地域で濃い時間を過ごしました。長期で地域に関われば、お互いの面倒くさいところや嫌なところも見えてきます。それでも、じっくりと関わり知っていくことがより学びを大きくするのだと改めて感じています。私自身はこの夏、社会教育士講習を受講しました。社会教育や公民館の歴史と、私たちの目指したい社会の姿には重なる部分が多々あり、たくさんの刺激を受けました。行政、民間、NPOなどの枠組みを超えて、互いの役割を全うしながら今後もより連携を進めていけたらと考えています。現在、秋に向けてイベントなども企画しています。夏の振り返りもしつつ、次の一步を歩みだしたいと思います。



179リレーションズ
コーディネーター
水谷あゆみ（たに）

関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」とは

179リレーションズでは、ひとつひとつのまちや活動に注目し、住んでいる場所や世代を超えて誰もが対等な関係性をつくっていきます。その結果、若者をはじめとする次世代の担い手が育ち、変化に強い持続的な地域が作られていくことを目指します。

特に以下の項目を重点項目として展開しています。

- ① 「関係人口」創出により、地域外の若手人材を地域の活動へ巻き込みます
- ② 地域内の若者が、主体的に展開する様々な活動と連携します。
- ③ 関係人口創出WEBマガジン「179RELATIONS」から参加する若者のリアルな声をお届けします。

季刊誌「RELATIONS MAGAZINE」では、179RELATIONSの最新情報やホットな話題をお届けします。みなさんとの連携のきっかけになればと思いますので、気になる情報や活動がありましたらお気軽にお問合せください。



運営団体「NPO法人ezorock」とは



“ezorock”は、「社会を揺り動かす」という理念のもと、2000年に行われた「RISING SUN ROCK FESTIVAL」における環境対策活動をきっかけに2001年4月に設立されました。青年層のネットワーク拡大とともに、北海道の地域課題に対して、若者のアイデアやパワーを届ける事業を展開。活動を通して若者が自らの人生と社会を切り開いていく機会を作り出しています。

2019年度実績
活動日数 318日 人数のべ1645人 地域 24市町村

関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」季刊誌

RELATIONS MAGAZINE!

PRODUCED BY ezorock 

〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-7

TEL/FAX 011-562-0081

E-mail info@ezorock.org

WEB <https://www.ezorock.org/>  <https://lin.ee/ugUhj0g>

 <https://www.facebook.com/ezorock/>  <https://twitter.com/ezorock/>

<https://179relations.net/>



<https://www.ezorock.org/>



RELATIONS MAGAZINE!

2020.10

vol.2



特集①
大学×地域
滞在型プロジェクト



特集②
熊本豪雨災害被災地支援活動
〜遠隔での支援活動〜

<https://179relations.net/>

179 RELATIONS



Topics

厚真町(教育委員会・堀田農園)×ezorock×北海道教育大学函館校 『厚真町長期滞在プログラム』を実施しました

8/20～9/23の1か月間、厚真町に5名の大学生が2週間ずつ滞在するプログラムを実施しました。原木のしいたけ栽培を行う堀田農場での農作業と、放課後児童クラブでの活動を組み合わせて、まちづくりや地域の方に関わりました。農業と教育を切り口に、じっくりと地域に関わり、様々な顔に触れることで、より地域のことを知り繋がりを増やすことができます。滞在中には、出会った方の繋がりで思いがけず様々な体験をさせていただいたり、地域にとっても夏場の人手不足を少しでも解消できたりと双方に価値の生まれるプログラムになりました。

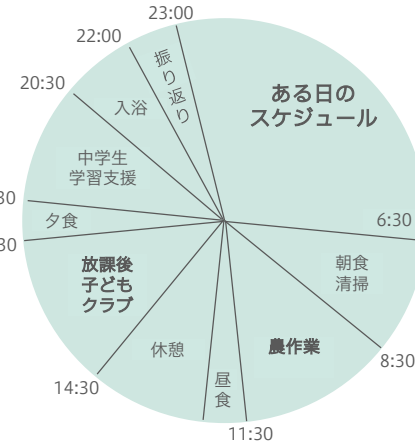


受入地域の声

近隣に大学がない地域にとって、日常的に大学生と関わりのもてる機会があるのは大きなメリットになるような気がします。特に、子どもたちは、こども園から中学校まで、毎年同じメンバーと一緒に暮らしているため、観光やイベントの関わりではなく、長期滞在で関わることによる人間関係の広がりを与える影響は、非常にいいと感じました。また、参加者にとっては基幹産業である農業にもどっぷりと浸かることで、「本物の厚真」を感じることができたのではないかと思います。この取り組みを通して、日常的な「暮らし」の中こそ、人を知る、地域を知る学びがあることを、改めて感じた時間だったと思います。(厚真町教育委員会 齊藤烈)

参加者の声

厚真町での長期滞在プログラムを終えて思うのは、参加してよかったということです。馬のお世話やしいたけの収穫など、行かなかったらできなかった新しい経験。学童での子どもたちとの交流は正解がなく、葛藤した経験。厚真の人と出会うこと、過ごすことでまた帰ってきたい居場所ができた経験。実際の厚真町を見て、聞いて、知って、感じて、考えることで、一回り成長できた気がしました。共同生活も含め、人と繋がることは面倒だと思うかもしれないけど、その何倍も良いものだと感じた2週間でした。(北海道教育大学函館校 窪田理央)



感染症対策として、EZDOME HOUSEを導入しました。2時間で組み立てられ、快適にプライベート空間を確保できます。今後も組立ワークショップから地域づくりへの活用まで、様々なシーンで活躍させていきます！



滞在は、EZDOME HOUSE 今後も全道で活用していきます！

Topics

NPO法人カタリバ×ezorock 熊本豪雨災害支援活動を実施しました

7月4日未明に発生した熊本県南部での豪雨災害。現地では東京に本部を持つNPO法人カタリバが、子どもの居場所を開設。そのバックオフィス機能を、現地での体制が整うまでの約1か月半に渡って、ezorockをはじめとする遠隔支援チームが担いました。この遠隔から、被災地支援活動の現場を応援する仕組みは、都市間の距離が遠い北海道内においても、今後必要になると考えられます。災害時、現場に駆け付けられる人も駆けつけられない人も、地域間でのいつものつながりが災害時に生きるということを実感する活動になりました。



札幌/ezorock ボランティア本部

現地メンバーと頻りにやり取りを繰り返し、7月20日から本格的にボランティア本部としての機能を担うことになりました。GoogleフォームやスプレッドシートなどオンラインでアクセスできるツールとZoomやLINEオープンチャットなどの通信ツールを活用してバックオフィスを運営しました。

- ・ボランティア受付
- ・ボランティア説明会
- ・ボランティアと活動場所のマッチング
- ・日々のボランティアへの連絡、対応
- ・情報整理、支援体制整備

また、今回は東京・大阪など全国からオンラインでの支援メンバーが集まり実施。ボランティア受付から現地とのマッチングなどを仕組みとして構築し、今後の災害にも備えていきたいと考えています。

熊本人吉・球磨 被災地/カタリバパーク

NPO法人カタリバでは発災5日後、避難所の一角に子どもの居場所を開設しました。朝8時～夕方5時まで、子どもたちが自由に遊んだり学んだりすることができる「みんなの遊び場『カタリバ・パーク』」を運営。学校が休校の間は毎日、小学生から高校生まで50名程の子どもたちが訪れました。現地では、学生時代ezorockで東日本大震災の被災地支援などにも携わっていた現カタリバメンバー井下さんが中心に立ち、熊本県内からのボランティアを受け入れながら活動を行っています。現在も週末を中心に活動は続いています。

参考: <https://www.katariba.or.jp/magazine/article/report200731/>



本紙は、(一社)北海道総合研究調査会 休眠預金を活用した「北海道未来社会システム創造事業」の助成を受けて作成しています。

続々更新中！ Instagram開設！

もっぴここのふるさと 松山由実

INTERVIEW 報告

ACTIONS 21 はまます果樹園プログラム

ACTIONS 20 浜益「緑米」プロジェクト報告

ACTIONS 19 『EZDOME』をたてました

WEBマガジン記事ピックアップ

報道採録

7月7日 釧路新聞(標津ナイト)

7月7日 月刊留萌(増毛山道)

7月17日 北海道新聞(増毛山道)

カレンダー

7月

03日 『標津ナイト』オンライン開催

18日 月に一度は森づくり @苦小牧

23日 熊本豪雨災害支援開始 浜益むらび果樹園

23日 札幌まるやま自然学校 キャンプ受付 @浜益

8月

20日 大雪山国立公園旭岳 自然保護プロジェクト

20日 厚真町長期滞在 長期滞在開始

20日 厚真町長期滞在 プログラム開始

22日 EZDOME設置

22日 月に一度は森づくり @苦小牧

22日 第一回鷹栖町高校生 プロジェクト @苦小牧

9月

10日 大雪山国立公園旭岳 自然保護プロジェクト

12日 月に一度は森づくり 長期滞在終了

23日 厚真町長期滞在 プログラム終了

24日 東川町長期滞在終了

25日 オンライン説明会

26日 福刈り体験 @浜益